

## 昭和62年度・北海道に発生した森林害虫

北海道森林昆虫談話会  
(1988.5.25 受理)

### はじめに

昭和62年度に北海道で発生した森林昆虫の発生状況について、北海道林務部・北海道営林局・道内各営林支局・北海道林木育種場、そのほか山林所有者からの発生報告、被害同定依頼、それに北海道立林業試験場・林業試験場北海道支場の調査をもとにして、北海道森林保護会議（昭和63年3月4-5日開催、23回北海道森林昆虫談話会）でとりまとめた。

### 1. 主な昆虫の発生動向

昭和62年度の発生概要は表-1, 2に示した。表-2は過去に北海道で発生したことのある森林昆虫名のリストをあげ、当該年度に発生した昆虫の加害樹種、発生地、発生面積 (ha)、発生様相を記載した。

**苗畑の昆虫：**トドマツノハダニが一部の苗畑で認められた。胆振東部ではエゾノカワヤナギさしき苗にヤナギシリジロゾウムシの加害があった。根切虫被害については報告がなかった。

**吸汁性の昆虫：**トドマツ・エゾマツのオオアブラムシ類の発生は、新植造林地の減っていることなどから、年々減少の傾向にある（表-1）。なお佐呂間ではヨーロッパトウヒの新植地にエゾマツオオアブラムシと思われる寄生が見られた。

**虫えい昆虫：**鶴川でトドマツノタマバエの発生が認められた。そのほか被害報告はないが、カサアブラムシ、タマバエ、タマバチ類などが各地で散見された。

**食葉性の昆虫：**エゾマツハバチが足寄・浦幌に発生した。またカラマツハラアカハバチが木古内で発生しているのが認められた。カラマツキハラハバチとミスジヒメカラマツハバチは比較的少ない発生で経過したようである。熊石・大成・興部でシナノキにハムグリハバチの1種の発生があり全葉に近い食害が認められた。この虫はこれまで

にも時々発生することがあり、加害によって木が枯れることはないようであるが、花のつきが悪くなることから養蜂上困ると言われている。

モミコスジオビハマキの学名が保田・鈴木(34)によって *Choristoneura jezoensis* と記載されたが、この虫はかつて昭和40年ころから当別・旭川など石狩低地帯を中心に大発生をしたことがある。しばらくその発生を聞かなかったが、61年に厚田・旭川での発生があり、62年には当別・留萌で発生し、面積も前年より多く、やや増加の傾向が認められた。そのほか旭川ではマツアトキハマキの発生も認められている。カラマツイトヒキハマキは旭川・当麻・東川・美瑛・南富良野など道央地方に広く発生した。マイマイガは前年に予想されたとおり、道南から道央地方にかけて大発生をした。

このため当年植栽のカラマツ造林木が食害をうけて枯れた（赤井川, 8.92ha）。広葉樹を加害した幼虫が移動してアカエゾマツ造林木をも食害した例が報告されている（原田：森林保護204, 1988）。

ツガカレハは美幌で比較的密度の高い林分（被害に至るほどではない）があった。

オオスジコガネ・スジコガネは胆振・日高地方の造林地で多く発生したところがある。

**穿孔性の昆虫：**ヒノキカワモグリガ *Epinotia granitalis* BUTLER はスギ・ヒノキの材質劣化害虫として、本州以南で問題視されているが、北海道にも本種が生息していることが確認された（前藤・山崎(32)）。

エゾマツ・トドマツ天然林で累積枯損の目についた所もあったが、62年度に多く発生したと言うものではない。8月31日～9月1日の低気圧通過によって、石狩地方の一部で風倒被害も起こったがそれほど多い量ではなかった。羽幌地域では植栽後まもないトドマツ造林木にカラマツコキクイムシの寄生加害があった。降雨が少なく、乾燥した日が長く続いたりすると、植栽木は生理的に衰

弱する。このため低密度のキクイムシの発生であっても枯死することがある。そのほか赤井川でカラマツヤツバキクイムシの発生が認められ、北見・置戸地域ではシラカンバ幼齢林にシラカバナガタマムシの穿入加害が認められた。

(林業試験場北海道支場 小泉 力 記)

## 2. 昭和62年1-12月に発表された関係文献

- 1) 秋田米治：雑草除去地でのトドマツオオアブラムシの移動と地表徘徊性クモ類(Ⅱ)～トドマツ樹下植栽幼齢造林地～ 日林北支論35：79-81
- 2) ———：アリ類を捕食したクモ2種について、森林保護200：34
- 3) 有沢 浩、芝野伸策・井口和信：マツカレハ越冬幼虫の活動開始時期、日林北支論35：71-72
- 4) 井口和信・小笠原繁男・宍戸憲治・有沢 浩：北海道におけるマツカレハ幼虫のマツ属・トウヒ属・モミ属幹足部での越冬～北海道におけるマツカレハ幼虫の越冬場所(Ⅰ)、日林北支論35：73-75
- 5) 石本雄一：ミスジヒメカラマツハバチの生態と防除について、61年度林業技術研究発表論：154-155
- 6) 大野修一・浜田 満・景山勇治・桜井 謙・北川善一：カラマツ間伐木を放置した林分におけるカラマツヤツバキクイムシの発生状況と薬剤防除効果、61年度林業技術研究発表論：167-169
- 7) 河原 漢・芝野伸策・高橋康夫・平田雅和：マツカレハの発生とその被害～1985年ストロブマツ林の実態～、日林北支論35：76-78
- 8) 金田秀行：十勝地方におけるマイマイガの産卵状況について、61年度林業技術研究発表論：180-181
- 9) 北原 曜：キバネセセリの産卵位置、森林保護199：24
- 10) 小泉 力・中津 篤・佐々木克彦：昭和62年度北海道森林保護事業推進協議会(第9回)報告、森林保護201：36-38
- 11) 佐々木智徳・武田利秋・大山重治・橋本浩二：間切放置林分におけるカラマツヤツバキクイムシの寄生試験について～枝払施業と枝付施業の寄生量の相違～、61年度林業技術研究発表論：162-163
- 12) 芝野伸策・河原 漢・有沢 浩：東京大学北海道演習林で大発生したマツカレハ、森林保護198：9-12
- 13) ———・—————・高橋範和・岡村行治・古田公人：ストロブマツの立木密度・胸高直径とマツカレハによる被害度、98日林論：485-486
- 14) 杉浦 勲：マイマイガの異常発生、山づくり311：14
- 15) 鈴木重孝：カラマツヤツバキクイムシに対するMEP剤の殺虫作用、光珠内季報68：7-10
- 16) 田村修一：カラマツイトヒキハマキの生態について、61年度林業技術研究発表論：170-171
- 17) ———・原秀穂：カラマツイトヒキハマキの生活史、北方林業39(7)：1-5
- 18) 寺崎幸夫・吉田成章・福山研二・古田公人：カラマツヤツバキクイの接種に対するカラマツの反応、東大農学部演習林報告77：19-30
- 19) 富樫則夫：カラマツヤツバキクイムシの発生消長と寄生密度について、61年度林業技術研究発表論：160-161
- 20) 原 秀穂：マイマイガの若齢幼虫の特徴、光珠内季報65：1-2
- 21) ———：カラマツの葉を食べるハバチ幼虫の絵とき検策、森林保護200：28-29
- 22) 原田 満：マイマイガの大食害、造林あさひかわ58-21
- 23) 東浦康友：十勝地方のカラマツ林ではどんな虫が発生するか?、山づくり「十勝地域版」19：
- 24) ———：Larval densities and a life-table for the gypsy moth *Lymantria dispar* estimated using the head-capsule collection method. Ecological Entomology 12：25-30
- 25) 古田公人：エゾマツ・トドマツのアブラムシ類(Ⅰ)オオアブラムシ類、林業と薬剤102：1-7
- 26) 古田信行・岡山 誠・関根和威・竹花邦男：カラマツヤツバキクイムシの発生と薬剤防除試験について、61年度林業技術研究発表論：156-159
- 27) 北海道森林昆虫談話会「吉田成章」：昭和60年度・北海道に発生した森林害虫、北方林業39(4)：22-26
- 28) ———：昭和61年度・北海道に発生した森林害虫、北方林業39(7)：11-16
- 29) 前藤 薫・吉田成章：トウヒ属を食害するオオアカズヒラタハバチ、森林保護197：2-4
- 30) ———・—————秋田米治：オオアカズヒラタハバチの研究(1)～1986年の成虫の発生消長～、日林北支論35：82-84
- 31) ———：トドマツ壮齢林における虫害、林試北海道支場年報61年度：66
- 32) ———山崎三郎：北海道にもヒノキカワモグリガが分布、森林保護202：48-49
- 33) 牧野俊一：スズメバチ類の生態と刺傷害、北方林業39(4)：9-12
- 34) 保田淑郎・鈴木重孝：A new species of *Choristoneura*

- (Lepidoptera, Tortricidae) on coifers from Hokkaido. 昆虫55(2): 232-239
- 35) 山家敏雄・芝野伸策・古田公人: 北海道のストローブマツ林に大発生したマツカレハ(1)~幼虫の発育速度および光周光反応~, 98日林論: 481-483
- 36) 吉田成章・前藤 薫・鈴木重孝・原 秀穂・松井 弘: エゾマツハバチの繭期の死亡, 日林北支論35: 85-87
- 37) ———・佐々木克彦・中津 篤: 第2回北海道森林保護会議報告, 森林保護198: 12-15

表-1 オオアブラムシ類の発生および防除面積 (ha)

所 管	トドマツオオアブラムシ		エゾマツオオアブラムシ	
	防 除	発 生	防 除	発 生
北海道局	652.00	1,620.00	777.00	1,144.00
函館局支	310.00	104.00		2.00
旭川支局	149.63		98.95	44.80
帯広支局				304.21
北見支局				
道有林	395.84	419.68	554.40	578.72
民有林	560.53	634.15	129.61	129.61
計	2,068.00	2,777.83	1,559.96	2,203.34

表-2 昭和62年度, 森林昆虫の発生状況

I. 苗畑に発生した昆虫

昆 虫 名	樹 種	発生地(市町村, 発生面積ha)	備 考
トドマツノハダニ	トドマツ	上湧別町	
ヒメカサアブラムシ			
エゾマツノメイガ			
ヨトウガ			
ヒメコガネ			
ナガチャコガネ			
ヤナギシリジロゾウムシ	エゾノカワヤナギ	胆振東	さしき養成苗木

II. 吸汁性の昆虫

昆 虫 名	樹 種	発生地(市町村, 発生面積ha)	備 考
スギノハダニ			
トドマツノハダニ			
スギマルカイガラムシ			
カイガラムシの1種	ナナカマド	美唄市, 札幌市	街路樹
マツワタアブラムシ			
トドノネオオワタムシ			
エゾマツオオアブラムシ	ヨーロッパトウヒ	佐呂間町 (1.76)	
ハネナガオオアブラムシ			
カラマツオオアブラムシ	カラマツ	静内町(0.80)	
クリオオアブラムシ			
カラマツカサアブラムシ	カラマツ	紋別市(2.56)	
マツカサアブラムシ	アカマツ	上磯町	

Ⅲ. 虫こぶ形成昆虫

昆 虫 名	樹 種	発生地(市町村, 発生面積ha)	備 考
ヒメカサアブラムシ			
エゾマツカサアブラムシ	エゾマツ		被害報告はないが各地で散見される
キタマツカサアブラムシ			
トドマツノタマバエ	トドマツ	鶴川町(3.80)	
マツバノタマバエ	クロマツ	江差町	海岸林、発生密度は低い
スギタマバエ			
エゾマツノシントメタマバエ	アカエゾマツ	稚内市	
クリタマバチ			
カシワハナフシ	カシワ		被害報告はないが海岸林などに散見

Ⅳ. 食葉性の昆虫

昆 虫 名	樹 種	発生地(市町村, 発生面積ha)	備 考
マツノキハバチ			
マツノミドリハバチ			
トウヒハバチ			
エゾマツハバチ	ブンゲンストウヒ	九大演(足寄町0.80)	
	アカエゾマツ	浦幌林署(浦幌町9.28), 江別市	
カラマツキハラハバチ	カラマツ		発生は少なかった様子
カラマツハラアカハバチ	カラマツ	木古内町(0.28)	
ミスジヒメカラマツハバチ	グイマツ×カラマツ	浦幌林署(白糠町16.96)	
	カラマツ	＊ (浦幌町71.68)	
ハンノキハバチ			
ポブラハバチ			
ニセポブラハバチ			
オウトウナメクジハバチ			
シラカバノクロボシハムグリハバチ			
ハムグリハバチの1種	シナノキ	乙部署(熊石町641.00; 大成町209.00), 興部林署(興部町)	
キイロアシブトハバチ			
オオアカズヒラタハバチ	エゾマツ	岩見沢署(由仁町3.00)	
	アカエゾマツ	＊ (由仁町2.00)	
タカネヒラタハバチ			
カラマツツツミノガ			
マツヒメハマキ			
トドマツアミメハマキ			
トウヒツツリハマキ			
モミコスジオビハマキ	トドマツ	留萌署(留萌市152.22), 留萌林署(留萌市3.84), 当別町(174.20)	前年より発生面積は増加している
マツアトキハマチ	トドマツ	旭川市(76.68)	

昆虫名	樹種	発生地(市町村, 発生面積ha)	備考
カラマツイトヒキハマキ	カラマツ	旭川林署(上川町131.68; 愛別町41.60; 当麻町236.96; 旭川市179.04; 東川町69.08; 南高良野町149.28), 深川市(17.00), 旭川市(420.00), 東川町(488.00), 当麻町(50.00), 愛別町(67.00), 美瑛町(300.00), 留萌市(2.68)	道央地方に広く発生した 計 2,152.32
コカクモンハマキ			
ミダレカクモンハマキ			
コメツガクチブサガ	トドマツ		発生報告はないが前年の加害地では新梢部の枯れがみられた
ドイツトウヒマダラメイガ			
アエアカスカシノメイガ	ヤチダモ	札幌市	小群状的な発生
オオクシヒゲシマメイガ			
ミスジツマキリエダシヤク			
オオトビスジエダシヤク			
オオチャバネフユエダシヤク			
チャバネフユエダシヤク			
ナミスジフユナミシヤク			
スギドクガ			
ドクガ			
ヤナギドクガ	ポプラ	札幌市(2.00)	並木, 全葉食害
キアシドクガ	ミズキ	札幌市	卵塊あり
カシワマイマイ			
ノンネマイマイ	ヨーロッパトウヒ	鉄道防雪林(岩見沢市2.00)	全葉が赤変
マイマイガ	アカエゾマツ	羽幌署(羽幌町15.78)	後志・石狩・胆振・日高・空知・上
	カラマツ	岩内署(共和町44.00; 神恵内町34.00; 泊村2.00), 岩見沢署(岩見沢市120.00; 美瑛市10.00) 蘭越町(1.16), 赤井川村(8.92), 全(4.16), 仁木町(8.24), 共和町(0.92), 倶知安町(0.60), 早来町(1,570.00), 厚真町(6,300.00), 穂別町(3,784.00), 鶴川町(1,700.00), 浜益村(60.00), 岩見沢市(8.50), 美瑛市(12.78), 栗沢町(13.00), 栗山町(2.48), 士別市(2.40), 剣淵町(2.16), 増毛町(6.00)	川・留萌地方に広く発生した 当年のカラマツ植栽木は食害によって枯死した。
	グイマツ×カラマツ	蘭越町(0.75)	
	ヤチダモ	岩内署(岩内町2.00)	
	カンバ	岩内署(岩内町2.00; 泊村37.00)	

昆 虫 名	樹 種	発生地(市町村, 発生面積ha)	備 考
		俱知安署(俱知安町30.0)	
	カラマツ, カンバ混交林	俱知安署(俱知安町12.00)	
	広葉樹	岩内署(岩内町16.00; 共和町643.00), 俱知安(俱知安町91.00), 羽幌署(羽幌町4,500.00), 岩見沢署(三笠市500.00; 浜益村130.00; 栗沢町40.00), 札幌署(小樽市150.00; 厚田村200.0), 余市署(余市町490.00; 古平町240.00; 積丹町420.00; 仁木町920.00; 赤井川村(1,990.00), 留萌林署(増毛町804.00)	
	アキグミ	乙部町(2.00)	24,723.85
セグロシヤチホコ	ドロノキ	佐呂間町(0.44)	
ブナオシヤチホコ			
ツガカレハ	トドマツ	美幌町(10.18)	やや密度が高い程度
マツカレハ			
オビカレハ			
クワゴマダラヒトリ	ヤチダモ	函館市	
クスサン	クリ	美幌市	
キバネセセリ			
オオスジコガネ	トドマツ	三石町(18.16)	
	トドマツ・カラマツ	厚賀署(門別町57.00; 新冠町630.00), 苫小牧署(苫小牧市400.00; 千歳市1,000.00), 恵庭署(千歳市700.00; 恵庭市700.00)	
スジコガネ	トドマツ	新冠町(0.52)	
	カラマツ	新冠町(6.48), 静内町(2.40)	
ドロノキハムシ			
ハンノキハムシ	ヤマハンノキ	長万部町(7.04)	
	コバハンノキ	当麻町(1.50)	
イタヤハムシ			
テントウノミハムシ			
アカタマゾウムシ			

V. 新梢・球果の穿入昆虫

昆 虫 名	樹 種	発生地(市町村, 発生面積ha)	備 考
カラマツタネバエ			
トドマツノミオナガコバチ			
マツツマアカシムシ			
マツトビマダラシムシ			
マツアトキハマキ			
ツマクロテンヒメハマキ			
エゾマツカサガ			

昆虫名	樹種	発生地(市町村, 発生面積ha)	備考
マツノシンマダラメイガ			
マツマダラメイガ			
マツノコキクイムシ			
マツノキクイムシ			
ハラダチョッキリ			
コナラシギゾウムシ	ミズナラ	今金町	苗畑(種子)

VI. 穿孔性の昆虫

昆虫名	樹種	発生地(市町村, 発生面積ha)	備考
ヒゲジロキバチ			
トドマツノキバチ			
コルリキバチ	針葉樹	恵庭市	住宅
コウモリガ			
キマダラコウモリガ			
ボクトウガ			
コスカシバガ	サクラ	美幌市, 歌登町	
ヒノキカワモグリガ	スギ、ヒノキ、他	札幌市	林試構内の樹木園
トドマツミキモグリガ			
カラマツミキモグリガ			
マツノシンマダラメイガ			
シラカバナガタムシ	シラカンバ	北見市, 置戸町, 美幌町	幼齡林
スギノアカネトラカミキリ	スギ	松前林署(福島町14.40; 松前町74.56)	面積は推定
オオトラカミキリ			
シラフヨツボシヒゲナガカミキリ	トドマツ、エゾマツ	本別署(足寄町)	山火跡地の周囲
マルクビヒラタカミキリ			
センノキカミキリ			
トドマツキボシゾウムシ			
マツキボシゾウムシ	ヨーロッパアカマツ	札幌市	新設道路の分離帯
ヤナギシリジロゾウムシ			
カラマツコキクイムシ	トドマツ	羽幌署(羽幌町6.53)	新植地
トドマツクイムシ			
エゾマツクイムシ	アカエゾマツ	足寄署(足寄町0.50)	
ヤツバククイムシ	エゾマツ		各地の天然林
カラマツヤバククイムシ	カラマツ	赤井川村(12.40)	約1,600本
ヤチダモノクロクイムシ	ヤチダモ	札幌署(当別町)	防風林
ヤチダモノナガクイムシ			